

今週のビルマのニュース
2010年9月24日【1035号】

「人道に対する罪」への調査委設置、支持国増える

・フランスとオランダ、ニュージーランドなど数カ国が、ビルマで「人道に対する罪」などが起きている疑いについて、国連による調査委員会設置を支持すると表明した（23日ミジマ、22日イラワディ）。

・カレン民族同盟（KNU）など8つの少数民族武装勢力の連合体、民族民主戦線（NDF）は22日、国連調査委設置を支持する声明を発表した。委員会が設置されればこれらの武装勢力の行為も調査対象となる。他方、17日の国連人権理事会会合で軍政代表は「我が国で人権侵害は起きていないので調査をする必要もない」と述べた（17日OHCHRニュース）。

【国連調査委員会設置とは】軍政指揮下で国軍が民間人を狙って攻撃を仕掛けたり、強制労働の使用や少数民族女性の強かん等深刻な人権侵害が組織的かつ広範に行われている疑いを国連が正式に調査すること。国際刑事裁判所（ICC）等への付託の準備とも言える手続きで、英米豪など10か国が支持。

総選挙関連の人権侵害事件が多発

・11月7日の投票日を前に国内で起きている多数の総選挙関連の人権侵害状況をNGOがまとめた。国内の人権侵害事例を記録する「ビルマ人権記録ネットワーク（ND-Burma）」が22日に発表した報告書には、一般市民が軍政の連邦団結発展党（USDP）に寄付するよう脅迫された事例など、今年7月までに起きた総選挙関連の人権侵害事件60件が記録されている（下記「注目の報告書」欄を参照）。

第三国定住制度で来日する難民がキャンプを出発

・第三国定住制度の下で日本に来るビルマ難民5家族が22日、タイのメーラ難民キャンプを出発した。28日に日本に到着する（22日共同ほか）。

注目の報告書

・ビルマ人権記録ネットワーク（ND-Burma）が2010年1月から7月までに起きた人権侵害事例をまとめた定期報告書を発表（22日）。選挙に関連した事例も60件。<http://www.nd-burma.org/>

・国際危機グループ（ICG）が中国のビルマ戦略についてペーパーを発表（21日）。”China's Myanmar Strategy: Elections, Ethnic Politics and Economics,” at: <http://www.crisisgroup.org/>

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし

イベント情報

・追悼集会 サフラン革命3周年～立ち上がったビルマの僧侶・市民、長井健司さんへ 在日ビルマ人民主化活動家主催（国連大学前、25日16時～）

・第14回ビルマ市民フォーラム総会 総選挙を前にした最新情勢「希望もなく、やる意味もない、ビルマの儀礼的総選挙」根本敬、アシン・ターワラ師、在日ビルマ人民主化活動家（文京シビックセンター内5階会議室AB、25日18時半～）

・第11回ビルマの国民的行事「ダディンジュ祭」主催：国民民主連盟（解放地域）日本支部（日比谷公園 小音楽堂・広場、26日11時～）

・ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映・講演会：ビルマ（ミャンマー）と日本・今治 今治明德短期大学・市川教授主催、ココラット氏による映画の解説、フォトジャーナリスト宇田有三氏のスライド上映・講演（今治市、第55番札所 南光坊本堂、26日13時～）

・ビルマ僧との対話集会～ビルマと日本の関係を考える～（大阪）主催：阪南大学 守屋友江 講師：アシン・ターワラ師、宇田有三氏（フォトジャーナリスト）、日本ビルマ救援センター（阪南大学サテライト、10月2日18時～）

・ビルマ僧との対話集会～ビルマと日本の関係を考える～（京都）主催：阪南大学 守屋友江 講師：アシン・ターワラ師、宇田有三氏（フォトジャーナリスト）、日本ビルマ救援センター（下京区 キャンパスプラザ京都第4講義室、10月3日18時半）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165